

筑北の食の保存からはじまる地域づくり

取組に至る背景・事業の目的

地域共通の伝統食・行事食を後世へ残すべき大切な「食文化」と捉え、高齢者から若年層へ継承され、住民間、世代間の融合を進めて、地域が一体化した取組により魅力ある地域づくりの構築を目的とする。また、地産地消も視野に入れた幅広い食育活動を展開する。

事業内容

会員が地域に古くから伝わる伝統食・行事食の掘り起こしを行い、約20回に及ぶ会合を経て、掲載する料理を厳選し、季節ごとに約60種類を冊子（レシピ集）としてとりまとめた。行政、学校等の関係機関へ冊子として配布するとともに、電子データによる配布も行い、学校などで教材として手軽に見られるよう工夫した。



【 郷土料理レシピ集 】

事業効果

平成24年5月にはこのレシピ集のお披露目の場として、「四季の食の集い」を開催し、100名を超える出席者があり、実際に掲載されたメニューの試食が行われた。世代を超えて様々な反響があり、地域の方々に郷土料理への関心を寄せてもらえることができ、改めて地域の良さを見直すきっかけとなった。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

筑北村は、本城村と坂北村と坂井村の旧三村が合併して誕生したが、実際に郷土料理を収集していくと、旧三村にそれぞれ特色があったり、同じ地区の中でも作り方や風習などが異なっていることが分かってきて、新鮮な発見の連続であった。その違いをすり合わせながら統一してまとめ上げていくことが、苦労した点であった。

また、平成24年度には郷土食や地元の農産品加工に興味がある方を対象に、体験講習会として「かあちゃん塾」をスタートさせ、このレシピ集を活用しながら6回程度の講座を予定し、約20名が受講している。

【選定のポイント】

村の伝統食・行事食を次の世代へ伝えていくためのレシピ集が製作され、平成24年度はそれを活用した「四季の食の集い」、「かあちゃん塾」が開催されており、今後の事業の発展的な継続に期待ができる点を評価した。

団体名	長野県農村生活マスター協会 筑北村協議会（筑北村）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	0263-67-2002 （筑北村産業課）	事業費	577,699円
		支援金額	577,000円